

ネイチャーセンター通信

カモのしぐさに注目

10月になると風蓮湖にたくさんのカモがやってきます。彼らの多くは、北の繁殖地から本州など南の越冬地へ向けて移動する途中、栄養補給のためここに立ち寄ったものたちです。風蓮湖には、カモたちのエサとなるアマモなどの水草が豊富に生えているため、水面は多くのカモでとてもにぎわいます。

カモの仲間は、比較的体が大きく、見通しがきく水面に浮かんでいるので、しぐさなどをじっくり観察するにはもってこいです。観察していると、彼らは羽根の手入れをする時にクチバシで自分の尾羽の付け根を触ったり、オスとメスが上下に首を動かしたり、色々とユニークなしぐさをしています。

これらのしぐさにはそれぞれ意味があります。例えば、上記にあげた「尾羽の付け根を触る」のは羽根の水はけを良くするための脂を尾のつけねから取っているしぐさです。また、「オスとメスが上下に首を動かす」しぐさは交尾の合図です。時にはオスだけが一生懸命に首を動かす、メスはしらんぷり、という場合もあります。

カモたちは、今回紹介した以外にもたくさん面白

いしぐさをします。ネイチャーセンターや図鑑などを利用し、どんなしぐさをどんなときするのか調べてから観察するとより楽しむことができると思います。反対に、とりあえず観察に行って、自分でしぐさの理由を想像してみるのも面白いかもしれません。

カモだけではなく、みなさんの周りの小鳥たちも、それぞれ特有のしぐさをしています。鳥たちのしぐさの意味を考えながら観察してみると、思いもよらない珍しいしぐさに出会えるかもしれません。

レンジャー 松岡 佑 昌



エサを食べるために逆立ちをするヒドリガモ



今月の一枚

ジュニアアンサンブルねむろ
8月31日

大好きなお父さんお母さんの前で演奏する子どもたち。

根室市の人口

平成25年9月1日現在（ ）前年同月比

人口 **28,396**人 (-424)

男 **13,640**人 (-207)

女 **14,756**人 (-217)

世帯数 **12,896**世帯 (-52)

※外国人を除く

広報ねむろ 2013 10月号 No.882
発行 根室市役所総務課
印刷 根室印刷株式会社

編集後記
ねむろアンガール

■花咲港の市場で、初めてセリを見ました。アジア圏のバイヤーの方々に同行したのですが、ピリッと締まった空気は圧巻でした。自分の知らないうちに世界を知ることができて良かったです。

根室市地域防災講演会を開催

根室半島沖地震から40年が経過！
あらためて、地震・津波災害について考えませんか？

日時 10月16日水18時（開演18時30分）
場所 総合文化会館 小ホール

第1部 「根室半島沖大地震から学ぶ」
講師 北海道大学大学院地震火山研究観測センターセンター長 谷岡勇市郎氏

第2部 「将来の災害に備え、対応するために」
講師 北海道大学大学院地震火山研究観測センター助教 定池 祐季氏

問合先 市総務課総務・防災担当
TEL (23)6111番 内線2222

